

座間市教育委員会 6 月定例会会議録

- 1 開会日時 平成30年6月13日(水) 午前9時30分
- 2 場 所 座間市役所5階教育委員会室
- 3 出席委員 教育委員長 小井田 由美子 委員長職務代理者 鈴木 義範  
 教育委員 天野 久美 教育委員 馬場 悠男  
 教育長 金子 槇之輔
- 4 出席職員 教育部長 石川 俊寛 教育総務課長 杉浦 俊夫  
 学校教育課長 小宮 美紀 教育指導課長 小川 雅嗣  
 保健給食担当課長 佐々木 幹 教育研究所長 石田 正行  
 生涯学習課長 稲垣 美隆 図書館長 金井 雄二
- 5 書 記 古川 武夫 小西 彩恵子
- 6 案 件

No.	議案番号	議 案 事 項 名	提案説明者	結果
1	26	座間市立図書館協議会委員の委嘱について	図書館長	承認
2	27	座間市学校課題協議会委員の委嘱について	教育指導課長	承認

No.	報告番号	報 告 事 項 名	提案説明者	結果
3	16	県費負担教職員の任用について	学校教育課長	—
4	17	公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団の経営状況について	生涯学習課長	—

小井田委員長 ただ今より6月定例教育委員会を開会いたします。  
 お諮りします。会期は今日一日でよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

小井田委員長 それでは、会期は6月13日今日一日といたします。  
 次に、教育委員会会議規則第21条第2項の規定により、会議録署名委員に天野委員と馬場委員を指名いたします。

小井田委員長 それでは経過報告に移ります。経過報告について金子教育長お願いいたします。

金子教育長 (経過報告を説明する。下表のとおり。)

## 経 過 報 告

平成30年6月13日定例会

実施月日	曜	事業(行事)等の内容	出席教育委員等氏名
5月9日	水	定例教育委員会	委員長、委員長職務代理者、天野委員、馬場委員、教育長
5月9日	水	社会教育指導員委嘱式	教育長
5月10日	木	関東都市教育長協議会総会	教育長
5月11日	金	関東都市教育長協議会総会	教育長
5月12日	土	湘北教職員組合第59回定期大会	教育長
5月14日	月	政策会議	教育長
5月14日	月	東原小学校 庁舎見学	教育長
5月14日	月	和座海綾租税教育推進協議会定期総会	教育長
5月15日	火	重点施策・事業取組方針ヒアリング	教育長
5月16日	水	旭小学校 庁舎見学	教育長
5月17日	木	ひばりが丘小学校 庁舎見学	教育長
5月17日	木	市学校保健会定期総会	教育長
5月17日	木	市文化協会総会	教育長
5月20日	日	座間さつき会 第43回花季展示会表彰式	教育長
5月22日	火	政策会議	教育長
5月23日	水	第1回中学校道徳教科書採択検討委員会	教育長
5月23日	水	市祭囃子保存連絡協議会総会	教育長
5月24日	木	相模が丘小学校 庁舎見学	教育長
5月24日	木	市基地返還等市民連絡協議会役員会・定期総会	教育長
5月25日	金	関東甲信越静教育委員会連合会総会	委員長、委員長職務代理者、天野委員
5月25日	金	入谷小学校 庁舎見学	教育長
5月25日	金	市文化振興財団定時評議委員会	教育長
5月25日	金	公民館まつり	教育長
5月26日	土	市自治体総連合会定期総会	教育長
5月28日	月	県都市教育長協議会総会	教育長
5月29日	火	市長定例記者会見	教育長

5月30日	水	チャレンジデー オープニングイベント	教育長
6月1日	金	市議会第2回定例会開会・総括質疑	教育長
6月2日	土	栗原小学校 運動会	委員長
6月6日	水	栗原小学校 庁舎見学	教育長
6月8日	金	市議会第2回定例会 一般質問	教育長
6月11日	月	市議会第2回定例会 一般質問	教育長
6月12日	火	市議会第2回定例会 一般質問	教育長

金子教育長 補足ですが、良い話として、相模中学校の野球部が県大会で優勝いたしましたことをご報告させていただきます。

小井田委員長 ありがとうございます。ただ今の経過報告についてその他にご意見、ご質問等ございませんか。

小井田委員長 よろしいでしょうか。  
では、以上で経過報告を終わります。

小井田委員長 次に議案の審議に移ります。

小井田委員長 お諮りいたします。  
議案第26号「座間市立図書館協議会委員の委嘱について」から、報告第16号「県費負担教職員の任用について」は人事に関する案件ですので、非公開にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

小井田委員長 ご異議なしと認め、当案件は非公開といたします。

(議案第26号から報告第16号までは非公開)

小井田委員長 傍聴人の入室を許可します。

小井田委員長 続きまして報告第17号「公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団の経営状況について」、稲垣生涯学習課長、お願いいたします。

「公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団の経営状況について」、公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団の平成29年度事業報告及び収支決算並びに平成30年度事業計画及び収支計画について、別添のとおり報告いたします。

公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団はこれまでの経験や実績を最大限に生かし、指定管理者として利用者の要望等に対処するためきめ細かな作業の提供を行いより多くの利用者に親しまれる施設として経営に努めております。なお、お示ししました内容につきましては去る5月25日に公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団評議委員会において承認され財団から提出されたものでございます。

初めに、平成29年度の実績報告書についてご説明申し上げます。2ページ、3ページをお開きください。事業概要、法人の概要及び組織は記載の通りでございます。4ページから6ページまで理事会及び評議委員会に関する事項は記載の通りでございます。続きまして、6ページから11ページのスポーツ教室、スポーツ講習会等、スポーツの振興に関する事業についてはスポーツ教室、観戦スポーツ、スポーツフェスティバルなど68事業を実施し、市民の健康増進、地域スポーツの振興に努めていただきました。11ページから16ページの音楽鑑賞、演劇鑑賞等、芸術文化の振興に関する事業は、音楽等の公演事業、寄席や映画鑑賞など56事業91公演を実施し、市民の芸術、文化の振興に努めていただきました。17ページのスポーツ及び芸術文化に関する情報の収集、提供事業では公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団情報誌「エール」を発行し、市民体育館、市民文化会館で催されますイベント等の情報提供に努めていただきました。また、情報コーナーの管理及び運営については、市民体育館及び市民文化会館のロビーにスポーツ及び文化芸術に係る月刊誌等を配置し、来館者に最新情報の提供をしていただきました。次に17ページから18ページの市民体育館及び市民文化会館の利用状況でございますが、市民体育館の総利用者数は28万6789人で、前年度に対し2151人の減少となりました。これは前年度、平成28年度が座間市出身のプロボクサー、井上尚哉選手のボクシング世界タイトルマッチ等があり、前年については観戦者が例外なく多かったということが要因として考えられます。市民文化会館の総利用者数につきましては、21万6788人で、前年度に対しまして、1万2372人の減少となりました。減少となった理由としては、開館から22年経った施設の経年劣化により、修繕による使用のできない日数が増えたことが主な要因と考えられております。次に収支決算書についてご説明申し上げます。20ページ以降をご覧ください。公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団の財務諸表は、公益法人会計基準に基づき、諸表は全て消費税及び地方消費税を含めた数値となっております。20ページ、21ページが対照表でございます。財団の財政状況を表した貸借対照表、バランスシートの資産の部の資産合計、運用額と負債及び正味財産合計は、3億7716万550円で一致しております。続きまして、22ページから23ページの貸借対照表内訳表は公益目的事業会計、収益事業等会計及び法人会計別に内訳を示したものでございます。なお、貸借対照表科目の内訳は、33ページ、34ペ

ページの財産目録に記載の通りでございます。次に24ページ、25ページの正味財産増減計算書では、まずⅠ. 財産増減の部 1 経常増減の部 (1) 経常収益 ですが、①基本財産運用益 は財団の基本財産2億円を定期預金、横浜市公募債等に預け入れ、運用した利息等で公益目的事業会計の収益として計上し、指定正味財産から一般正味財産へ振り替えております。②特定資産運用益 は、退職金積立利息でございます。③事業収益 は、体育館におけるスポーツ教室受講料、文化会館での文化事業におけるコンサート入場料収入でございます。④受取補助金等 は体育館及び文化会館の事業管理に要する費用として市から受託したものでございます。法人管理市補助金は、財団の管理運営に要する経費としての市からの補助金でございます。⑤は寄付等が記載されるものでございますが、寄付がありませんでしたので、記載してございません。⑥雑収益 は普通預金受取利息収益、自動販売機手数料等で経常収益計5億6147万6843円となっております。次に(2) 経常費用 ①事業費 は、職員庶務改善に伴う給料手当及び体育館の休館日変更に伴う体育館管理運営事業の委託料等の増により、前年度に対し増となっております。②管理費 は、消費税及び地方消費税を管理費から事業費へ振り替えたことに伴う租税公課の原理により、前年度に対し減となったものでございます。以上により、経常費用計は5億3464万9201円となり、当期経常増減額は2682万7642円となりました。2. 経常外増減の部は、平成28年度より経常外費用として過年度退職給付費用を新設し、平成29年度は3100万1208円と積み立てしております。従いまして、法人税、住民税及び事業税の9万5000円を差し引いた当期一般正味財産増減額は2363万1434円で、一般正味財産期首残高は7466万7231円ですので、一般正味財産期末残高は、9829万8865円となっております。次にⅡ. 指定正味財産増減の部は、基本財産運用益を一般正味財産へ振り替えたことにより当期指定正味財産増減額はございません。よって指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高ともに2億円となり、Ⅲ. 正味財産期末残高は2億9829万8865円となりました。また、平成29年度の市からの管理運営受託料の剰余金といたしまして、体育館が451万8480円、文化会館が、1000万2671円となりました。この剰余金につきましては、平成31年度の当初予算に充てる予定となっております。また、市からの補助金につきましては清算となっておりますので、246万9415円を返還していただいております。次に26ページから29ページの正味財産増減計算書内訳表はただ今ご説明申し上げました正味財産増減計算書を公益目的事業会計、収益事業等会計及び法人会計別に内訳をお示ししたものでございます。30ページから32ページには財務諸表に関する注記は、重要な会計方針、基本財産及び特定財産に関する事項、補助金の内訳等を記載したものでございます。続きまして、32ページ附属明細書の 2. 引当金の明細 は、平成28年度から新たに積み立てを致しました退職給付引当金で今年度分の積み立てを記載しております。33ページ、34ページの財産目録は、貸借対照表科目、場所・物量等、使用目的等別に記載したものでございます。続きまして、

35ページ、36ページの財産増減計算書は参考として予算額、決定額及び差異を記載したものでございます。以上、公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団の平成29年度事業報告及び収支決算の説明とさせていただきます。

続きまして、平成30年度の事業計画及び収支予算書についてご説明申し上げます。初めに事業計画書についてご説明いたします。2ページから9ページはスポーツの振興に関する事業、スポーツ教室、観戦スポーツ及びスポーツ公開講座などを企画しております。さらには、新規事業といたしましたスポーツフェスティバルでバドミントンやバレーボールを開催し、初めての試みとして現場に出向いて指導を行う「アウトリーチ事業」で野球教室を実施し、市民の健康増進、地域スポーツの振興に努めていただく予定でございます。10ページから15ページの芸術文化の振興に関する事業は、質の高いクラシックコンサートや映画鑑賞及びワークショップなどを計画しております。また既に終了いたしました、昨年度に続き4月には座間市からの新しい発信事業と位置付けております第2回日本歌曲コンクールを開催し、地域文化の拠点となるため色々なジャンルの芸術文化活動を提供するなど、意欲的な事業展開に努めていただいております。15ページのスポーツ及び文化芸術に関する情報の収集・提供事業では例年通り財団情報誌「エール」を発行し、情報提供等に努めてまいります。また、情報コーナーの管理及び運営では、市民体育館及び市民文化会館のロビーにスポーツ及び文化芸術に関する図書、月刊誌等を配置し、来館者に引き続き情報を提供してまいります。続きまして、座間市が設置するスポーツ施設及び文化施設の管理運営の受託につきましては、さらなる利用者のサービス向上を図るため、文化会館においては平成28年度から体育館においては平成29年度から、定期休館日を廃止し、開館日の拡大を図っております。続きまして、平成30年度の収支予算書についてご説明いたします。18ページ、19ページをお開きいただきたいと思います。正味財産増減予算書について、ご説明させていただきます。1 経常増減の部 (1) 経常収益 ③事業収益 の文化事業収益については、ベルリン放送交響楽団のチケット販売収入を見込んで増額となっております。④受取補助金等 の法人管理市補助金については、財団職員の増員による給料手当及びそれに伴う福利厚生費の増額となっております。以上により経常収益は5億7635万7000円を予算計上させていただいております。次に(2) 経常費用 ①事業費 の主な予算内容は、ベルリン放送交響楽団を招聘したことによる委託料の増額となりました。また②管理費 については、法人管理市補助金と同様の内容により増額となり、経常費用は、6億2180万円となり、当期経常増減額は4844万3000円の減となります。2 経常外増減の部 (2) 経常外費用 の過年度退職給付費用については、昨年度と同様の予算措置をさせていただいております。従いまして、当期一般正味財産増減額は5154万3000円の減となり、一般正味財産期末残高は35万5000円となっております。次にⅡ. 指定正味財産増減の部 (1) 基本財産運用益と(2) 一般正味財産 への振替額は増額ですので、当期指定正味財産増減額はございません。また、指定正味財産期首残高と指

定正味財産期末残高は2億円で変更はございません。よって、Ⅲ．正味財産期末残高は2億35万5000円でございます。次に20ページ、21ページの正味財産増減予算書内訳表は、公益目的事業会計、収益事業等会計及び法人会計別に内訳を示したものでございます。次に、正味財産増減予算書内訳表は、ただ今ご説明をさせていただきますました正味財産増減予算書を公益目的事業会計、収益事業等会計及び法人会計別に内訳をお示ししたものでございます。以上が公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団の経営状況の平成30年度収支予算書の概要でございます。

小井田委員長　ご説明ありがとうございました。ただ今の件について、何かご質問等はございませんか。

鈴木委員長職務代理者

体育館と市民文化会館の通年会館のことをお伺いいたします。

このことにつきまして、市民からの評判はいかがでしょうか。またそれに対する職員体制はうまく対応出来ておりますでしょうか。

稲垣課長　利用者の皆様からは利用できる回数が増えたということで、一定の評価はいただいているそうです。またそれに対する職員数も増をさせていただき、ローテーション等をし、職員の皆様の勤務状況に影響がない形で対応しているとお聞きしております。

鈴木委員長職務代理者

ありがとうございます。加えて、利用者数について質問いたします。ご説明の中では、市民体育館は28年度に井上尚哉選手の事業があり、文化会館では大きな修繕があるということで利用者数が減になっているということでした。通年会館をしてもこのような数字が出てしまっているようで少し心配なのですが、このことについてのお考えをお聞かせください。

稲垣課長　平成28年度はビッグイベントがありましたが、例年の平均で見ますとそれほど極端な減ではないのかと思っております。

ですが、やはりこのように大きな催しがあるとかなり影響を受けますので、このことへの対応も体育館や文化会館に確認を取りたいと思います。

小井田委員長　ありがとうございました。他にご質問等ございますか。

小井田委員長　よろしいでしょうか。

では引き続き今年度の管理運営も、どうぞよろしく願いいたします。他にご質問等もないようですので、報告第17号を終了いたします。

小井田委員長 本日の報告事項は以上です。  
その他、委員会の中で取り上げたいことはございますか。

小井田委員長 よろしいでしょうか。それでは、次回の定例会は7月25日（水）午前9時30分から市役所5階5-2、3会議室で開催します。  
以上で6月定例教育委員会を閉じさせていただきます。

（10時10分 閉会）